

正殿2階「御書扁額」の原寸部分試作及び本製作

県では、首里城正殿の二階に掲げられていた御書扁額3枚の製作に向けて、令和3年度に首里城扁額製作検討委員会を設置し、仕様の検討や試作・本製作に取り組んでいる。

令和6年度取組状況

- ・「中山世土」原寸部分試作を製作。
- ・令和7年度末の完成を目指し1枚目「中山世土」本製作を進めた。
- ・令和6年9月に2枚目「輯瑞球陽」の本製作に着手した。



七宝繋(左下)

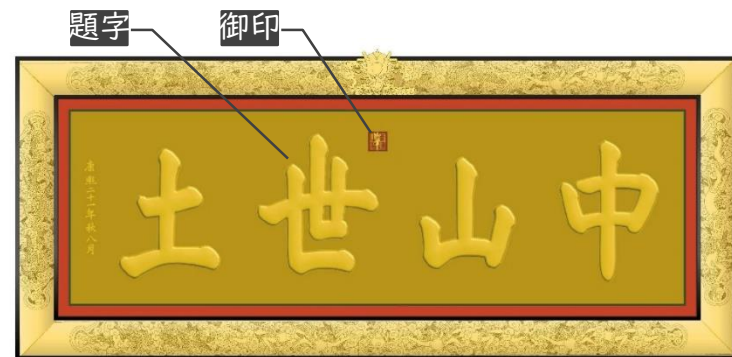


上辺右側龍



宝珠

扁額「中山世土」本製作状況(R7.5,6月撮影)



扁額「中山世土」完成イメージ



扁額「中山世土」本製作状況(R7.7.17撮影)



扁額「輯瑞球陽」地板 本製作状況(R7.6.17撮影)

首里城の壁面塗装に要する漆芸技術、正殿内に設置される扁額などの素地制作に
要する木工芸技術に関する人材を育成

高度工芸技術者養成研修事業

織物、紅型、漆芸、木工芸の4つの分野について、約1年の技術研修を実施。毎年、各4名程度の研修生が
修了している。修了生は現在、壁面塗装のほか、扁額の漆塗り作業に従事している。

研修状況

漆芸研修

漆塗りの基本となる髹漆（きゅうしつ）技術を習得。また、
沖縄の伝統的な3つの加飾技術「螺鈿（らでん）、沈金
（ちんきん）、推錦（ついきん）」について習得する。



木工芸研修

木工芸の基礎となる木材の性質理解、乾燥技術、木取り
技術を習得。また、引出し物などを制作する箱物技術、
椅子や卓などを制作する脚物技術について習得する。



首里城復興へ活用するため伐採した樹木の植林及び保育活動

➤ 正殿の小屋丸太梁に使用するオキナワウラジログシを伐採した跡地(国頭村)に同苗木を植栽するため、地元の子ども達が首里城復元への願いを込めて作った苗木約200本を、令和4年11月に植栽した。



《オキナワウラジログシ苗木作り (R4.2)》



《大切に管理された苗木》



《苗木植栽 (R4.11)》

➤ 植栽後は、下刈りや施肥などの保育施業を実施。(令和5年度、6年度)
令和6年度は、ツルが繁茂し枯損が著しかった箇所にも補植も行った。
今後も、適切な管理を継続することが重要。



《令和6年度の保育活動 (左: 植栽木 右: 補植した苗)》

(3) 復元過程の公開による観光資源等としての活用

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有することを目的に、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力の再認識に繋がるイベントを開催。

【日程】 昼の部: 令和6年12月7日(土)・12月8日(日)・12月14日(土)・12月15日(日)・12月21日(土)・12月22日(日)

夜の部: 令和6年12月13日(金)・12月16日(月)・12月20日(金)・12月23日(月)

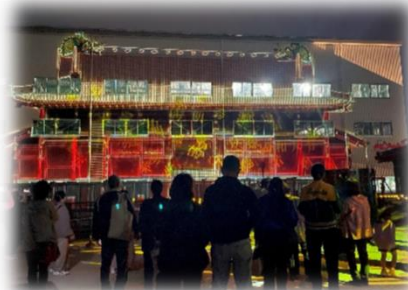
【会場】 首里城公園



昼の部: 首里城復興ツアー＆ものづくり体験



夜の部: 首里城ファンタジアナイト

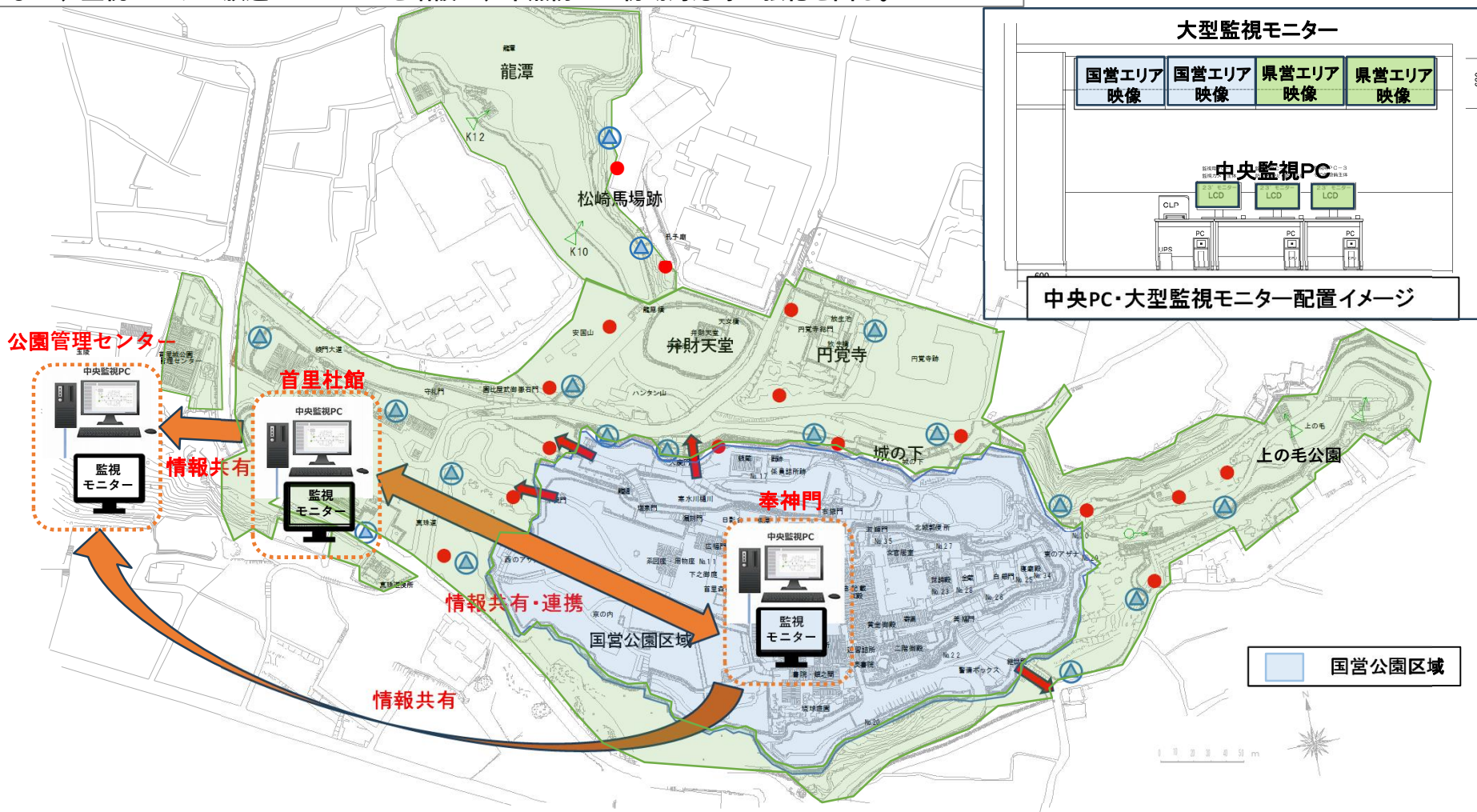


(1) 再発防止に向けた防火設備等の強化

再発防止に向けた防災設備等の強化として、公園全体の防災拠点である**公園管理センター**、県営公園の防災拠点である**首里杜館防災センター**、国営公園の防災拠点である**奉神門管理事務室**の中央監視PC及び監視モニターを連携することにより、相互の防災設備等の作動状況、監視カメラの映像の情報共有・連携の強化を図る。

また、監視カメラ・放送スピーカーを増設し、未然防止・初動対応等の強化を図る。

- : 監視カメラの増設箇所
- ⓐ : 放送スピーカーの増設箇所
- ➡ : 城郭外への避難経路



(2) 安全性の高い施設管理体制の構築

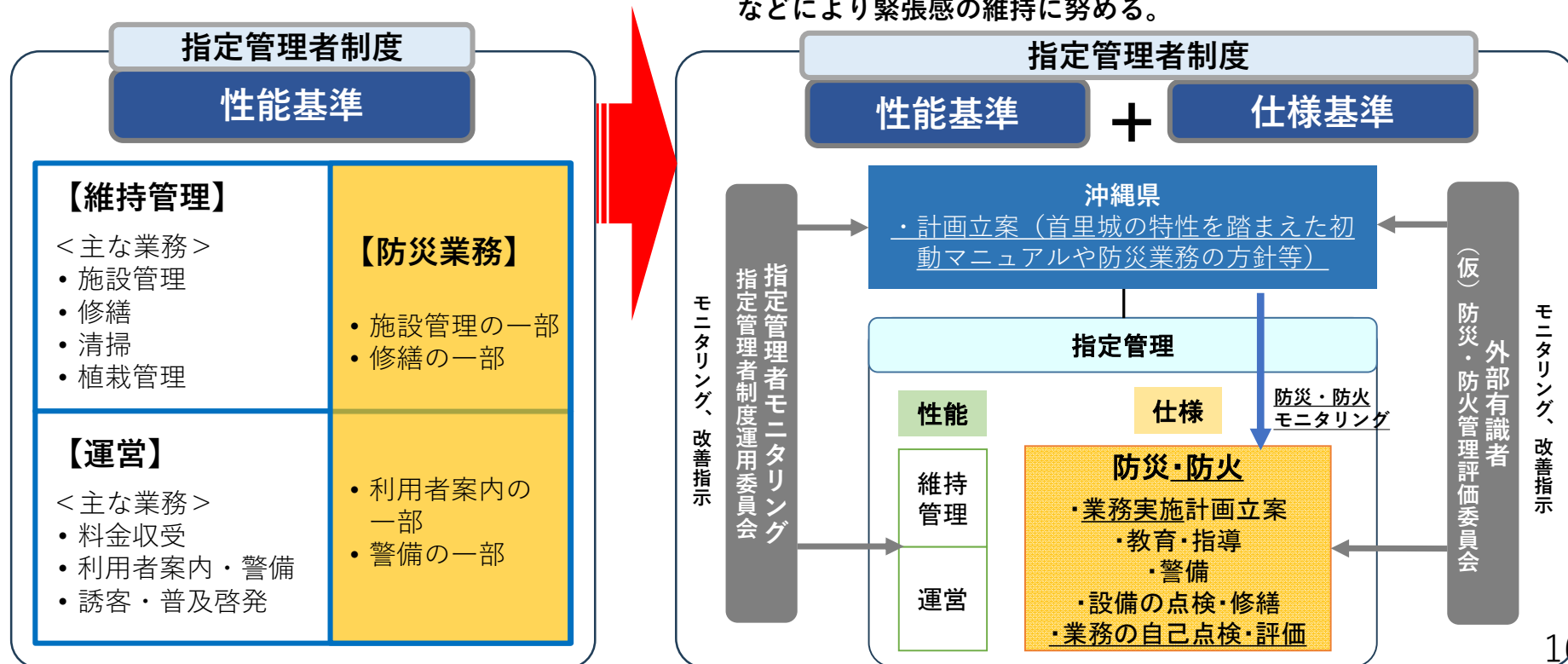
火災前の指定管理者制度の運用では、県としての技術の蓄積や業務の安定性・継続性などに課題があった。次期管理期間からは、現場での訓練等の実践を通して、技術の蓄積等によるレベルの維持・向上を適切な防火管理の実行体制の仕組みとして確立させる。具体的には、防災業務の仕様発注による契約方法の見直しを行う。

火災前（令和元年10月）

- これまで防災業務については、一般的な指定管理業務の中で性能基準としており、防災業務は指定管理者の裁量に任されていた。
- 数年ごとに管理者が交代する可能性があり、人材確保や防災関連技術の蓄積が担保できない。

正殿単体完成時（令和8年）

- 今後は、防災業務について、しっかりとした仕様基準を定め、維持管理・運営業務と組み合わせて指定管理業務を発注する。
- 指定管理業務の中で、維持管理・運営業務と防災業務を組み合わせで発注する。
- 県による防災・防火モニタリングを実施し、仕様に基づき業務を遂行しているか確認を行う。
- 防災業務については有識者委員会の委員による年複数回の現地確認などにより緊張感の維持に努める。



基本施策3. 首里城公園のさらなる魅力の向上 (I) 国営・県営区域の一体的利用 首里城公園のライトアップについて

照明デザイン及び照明手法の考え方

光のコントラストやグラデーションを活かした照明デザインを行い、城郭の特徴や繊細な表情を演出します
照明器具はグレアに配慮し、先進 LED 技術を積極的に活用。最小の器具で最大の照明効果を目指します



無線照明制御システムの考え方

公園内の全ての照明を一括管理できる無線照明制御技術を活用し
将来的な拡張や連携にも対応可能な先進のシステムを構築します



守礼門



木曳門



歓会門



園比屋武御嶽石門



木曳門周辺



久慶門周辺



歴史の道

(1) 首里城跡の適正な保全と価値の周知

(2) 文化財等の復元、修復及び収集

所管課:教育庁文化財課

○首里城復興事業（細事業：首里城跡景観整備事業）

首里城の景観を著しく損ね、危険度が増している外郭城壁や門櫓を修復し、危険度の除去や景観の保護を図る。令和6年度は南城郭石積み解体・積み直し工事、継世門櫓の修復工事、歓会門櫓及び久慶門櫓の変状調査、西のアザナ外郭城壁の悉皆調査を実施。



南城郭石積み解体・積み直し工事完了



継世門櫓修復工事完了



久慶門櫓変状調査



西のアザナ外郭城壁悉皆調査

○円覚寺跡保存整備事業

史跡「円覚寺跡」の適切な保存と活用を図るための事業。令和6年度は三門本体一階部分（壁以外）の復元工事を実施。



三門本体一階部分の柱立て



三門本体一階上層・斗拱Aタイプ設置完了

○黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠修理事業

首里城火災で被災した県指定有形文化財の漆器2件のうち、令和6年度は「黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠」の修理を実施。



黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠・修理前状況

- ・首里城復興基金への寄附受付は、令和3年度末を以て終了。
- ・引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和4年度から下記の基金・寄付金を創設した。

「首里城未来基金」の活用先について

首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承を目的としており、
県が令和2年度に策定した「首里城復興基本計画」の
基本施策に位置づけられている以下2つの事業が対象となります。

I

首里城復興基本計画
基本施策5(1)

伝統的な建築等の技術に
係る人材育成事業

伝統的な建造物木工(宮大工等)、
彫刻・塗装・彩色等の
技術者育成

II

首里城復興基本計画
基本施策6

古都首里の歴史的空間
創出に係る事業

首里城周辺の歴史・文化施設整備、
首里城城壁等の修復、
歴史まちづくり推進等



首里城歴史文化継承基金事業 (R5~)

首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む

目的1

復元事業等と連携した研修実施による現場
即応可能な人材の育成

目的2

各技術団体・個人のネットワーク構築による
将来自走可能な連携体制整備

